

令和 7 年度 第 1 回石狩市地場企業等活性化審議会議事録

日 時 令和 7 年 8 月 22 日（金） 14：30～15：30

場 所 石狩市役所 3 階 庁議室

出席者 委 員：北山雀会長、酒井妙美副会長、高梨朝靖委員、小山玲子委員、岩崎伸彦委員、
石田琢磨委員

石狩市：市長 加藤 龍幸

事務局 産業振興部 部長 巴 嘉之

商工労働課 課長 高井 実生子

商工労働課 主査 沼田 慎吾

商工労働課 主任 佐藤 あき

傍聴者 0 名

=====

【事務局（高井課長）】

それでは、お時間となりましたので、ただ今より令和 7 年度第 1 回石狩市地場企業等活性化審議会を開会いたします。

会長が選出されるまでは、事務局にて進行をさせていただきます。

私は、産業振興部商工労働課の課長をしております高井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

審議会の開催に先立ちまして、委員の委嘱状を交付いたしますが、委嘱状につきましては誠に恐縮ではございますが、お席の方に置かせていただき、交付に代えさせていただきたいと存じます。

それでは、はじめに加藤市長よりご挨拶を申し上げます。

【加藤市長】

本日は、大変お忙しい中、今年度第 1 回目となる石狩市地場企業等活性化審議会にお集まり頂き、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃より本市の行政推進に対し、ご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

また、本審議会の委員就任をご承諾いただいたことを重ねてお礼申し上げます。

本市では、「地場産財の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市の経済の自立性向上に寄与すること」を目的とした「地場企業等活性化条例」を制定しております。

本審議会は、地場企業等の活性化を図るための諸施策について審議するため、この条例に基づき設置されているものであり、これまで、さまざまな観点からご議論・ご提言をいただいているところです。この条例に即した施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和 4 年度に「第 5 次石狩市地場企業等活性化計画」を策定しました。これまでも本市では、本計画に基づき、様々な施策を講じてまいりましたが、昨今のエネルギー価格や物価の高騰、不安定な世界情勢などにより、市民の暮らしや企業活動に様々な

影響が及んでいるところであります。今後とも社会情勢を注視しながら経済活動と地域活性化に向けた事業を展開していきたいと考えております。

なお、本計画のほか、産業振興に関連する「石狩市農業振興計画」「石狩市漁業振興計画」「石狩市観光振興計画」に関しましても、令和4年度に策定しております。これらの4つの計画は、本市の産業振興に密接に関わることから、連携を十分図りながら推進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

終わりになりますが、本日は「第5次石狩市地場企業等活性化計画」の進捗状況をご報告させていただく内容となっております。皆様方からのご意見などをお願い申し上げて挨拶とさせていただきます。

【事務局（高井課長）】

加藤市長ですが、この後他の用務がございまして、ここで退席させていただきます。

【加藤市長】

どうぞよろしくお願いいたします。失礼します。

【事務局（高井課長）】

続きまして、本審議会の委員の皆様をご紹介します。

本審議会は、学識経験者1名、商工業等関係者8名、公募委員が1名の合計10名で構成されております。

最初に、学識経験者であります北山侏様でございます。

【北山会長】

北山です。どうぞよろしくお願い致します。

【事務局（高井課長）】

続きまして、石狩商工会議所からご推薦いただきました酒井妙美様でございます。

【酒井副会長】

石狩商工会議所女性会から来ました酒井です。よろしくお願い致します。

【事務局（高井課長）】

続きまして、一般社団法人石狩観光協会からご推薦いただきました高梨朝靖様でございます。

【高梨委員】

石狩観光協会の高梨です。よろしくお願い致します。

【事務局（高井課長）】

続きまして、石狩北商工会からご推薦いただきました小山玲子様でございます。

【小山委員】

石狩北商工会女性部の部長をやっております小山玲子です。よろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

続きまして、北石狩農業協同組合からご推薦いただきました岩崎伸彦様でございます。

【岩崎委員】

岩崎です。よろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

続きまして、石狩市金融協会からご推薦いただきました石田琢磨様でございます。

【石田委員】

石田です。よろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

皆様どうぞよろしくお願いいたします。

なお、石狩商工会議所からご推薦いただきました鈴木圭一様、札幌市農業協同組合からご推薦いただきました曾我俊史様、石狩湾漁業協同組合からご推薦いただきました新明正英様、一般公募で委員に就任していただきました相田珠美様につきましては、本日欠席のご連絡をいただいております。

続きまして、事務局のメンバーも紹介させていただきます。

【巴部長】

産業振興部長の巴です。よろしくお願いいたします。

【沼田主査】

産業振興部商工労働課主査の沼田です。よろしくお願いいたします。

【佐藤主任】

商工労働課佐藤です。よろしくお願いいたします。

【事務局（高井課長）】

以上が事務局となっております。

それでは、石狩市地場企業等活性化条例第 12 条第 1 項の規定によりまして、会長及び副会長の選出をお願いしたいと思います。いかがいたしましょうか。

【高梨委員】

事務局一任でお願いします。

【事務局（高井課長）】

事務局一任というお声をいただきましたので、それでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【事務局（高井課長）】

異議がないようなので、事務局からのご提案を申し上げます。

事務局といたしましては、会長に学識経験者であります、北山様、副会長に石狩商工会議所からご推薦の酒井様をお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【事務局（高井課長）】

では、異議なしということで、そのように決定したいと存じます。北山様、酒井様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは北山会長より、就任にあたりましてご挨拶をお願いいたします。

【北山会長】

ただ今会長に私と、副会長に酒井さんが選出されましたので、2年間頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

【事務局（高井課長）】

ありがとうございました。

委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入る前に、議事録の作成方法について、確認させていただきます。

議事録の作成につきまして、これまでは、全文筆記としまして、会長が代表で確認後、会長の署名により議事録を確定するとしておりましたが、今期におきましても、この方法でよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

【事務局（高井課長）】

それでは、異議なしとの声がありましたので、そのように取扱いさせていただきます。

なお、議事録作成のために録音しておりますので、ご発言の際は、マイクを使用してご発言いただくよう、よろしくお願いいたします。

それでは、以後の議事進行は、北山会長をお願いしたいと思います。

【北山会長】

それでは本日の議事に入りたいと思います。

議事は一つでありまして、第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況についてとなっております。
事務局より説明をお願いします。

【事務局（沼田主査）】

商工労働課の沼田でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、第5次石狩市地場企業等活性化計画施策方針の推進状況をご報告させていただきます。

なお、第5次計画では、数値目標を定めておりませんので、取組状況のみご説明させていただきます。

はじめに、今年から新たに加わった委員の方もいらっしゃいますことから、「石狩市地場企業等活性化計画」の概要について冒頭簡単にご説明させていただきます。

皆様のお手元にございます「参考資料1：石狩市地場企業等活性化条例」をご覧ください。本計画につきましましては当条例に基づき、策定しております。

第1条に目的が明記されておりますが、本条例は、地場産財の開発、普及等及び市内における取引関係の強化拡大を促進することにより、地場企業等の活性化を図り、もって市内の産業の高度化及び多様化並びに本市経済の自立性向上に寄与することを目的に、平成10年3月に制定され、現在の第5次計画は令和4年度から推進しております。

それでは、資料1をご覧ください。

本計画は、「第5期石狩市総合計画における基本施策のうち、産業分野にかかる個別計画として位置づけられ、産業振興に関連する4つの計画との連携、整合性を図りながら推進するものであります。

1ページ目下段をご覧ください。産業振興関連計画として、本計画のほか「農業振興計画」「漁業振興計画」「観光振興計画」の4計画があり、2ページ目中段に記載があります「持続可能な地域を目指す産業の振興」を共通テーマとしております。

続いて18ページから25ページまで、「第3章地場企業等活性化に向けての施策方針」として、4つの施策方針とそれに関連する18の施策が掲載されており、この施策に基づき取り組みを行っているところであります。詳細は後ほどご覧願います。

ここからは資料2に基づき、令和6年度を取組状況をご説明させていただきます。

それでは1ページ、施策方針の1つ目、「石狩湾新港地域の活性化」として、「(1) 企業誘致の推進」は首都圏を中心とした企業訪問や企業誘致フェアへの出展などを実施し、令和6年度末の新港地域の立地企業数は771社、操業企業数は717社となっております。近年では、スーパーホテルやコストコホールセール、イオンやニトリの物流センターの進出、新たなデータセンターの建設などに加え、港湾区域において大規模洋上風力発電所の営業運転の開始もあり、更なる発展が期待されることから、再エネ分野やデータセンター集積の加速等、今後も継続して、これらの取組を実施していく予定でございます。

次に「(2) 事業拡大や継続の促進」については、石狩市地域未来投資促進条例や、先端設備等導入計画の認定等による「設備の新設又は増設に対する」固定資産税の免除等を行うことにより事業拡大の促進を行ってきたほか、石狩湾新港地域への通勤オンデマンド交通の実証運行や軌道系交通システムの導入に関する調査を行い、交通課題への取り組みなどを行って参りました。今後も課題の整理や情報収集に努めたいと考えております。

次に2ページ、施策方針の2つ目「地場企業等の経営基盤強化」として、「(1) 情報の提供及び組織等の強化」

①「情報の提供」につきましては、各種支援制度の情報提供を市ホームページ・広報などで実施しており、情報を必要とする企業等への有効な配信方法を検討しつつ今後も継続していく予定です。

②「地域経済活性化に向けた支援」につきましては、石狩商工会議所や石狩北商工会が取り組んだ商工業者への経営改善等の指導などに対する支援を行っており、今後も実務担当者との意見交換による情報の共有と連携を引き続き行って参ります。

次に「(2) 中小企業・小規模企業者への支援」

①「商工会議所及び商工会と連携した支援」につきましては、商工会議所や商工会が行う、経営指導や融資のあっせん等に対し支援を行って参りました。引き続き連携し新たな取り組みを検討してまいります。

②「公共工事等の受注機会の確保」につきましては、契約課で行っている、小規模修繕契約希望者登録制度があり、50万円以下の小規模修繕費について、一般の指名業者登録とは別の制度として、建設業の小規模事業者を受注機会を確保する制度があり、今後においても継続していく予定です。

3ページ目③「競争力強化に向けた支援」につきましては再掲となっております。

次に、「(3) 金融支援等の強化」につきましては、市の中小企業等特別融資制度の運用、各種融資制度などに係る情報提供を行っており、今後も継続して実施していく予定ですが、実際に融資を受けようとする事業者のニーズ把握が課題として挙げられていることから、金融機関との意見交換などを行いながら支援策の検討を行って参ります。

次に、「(4) 人材の育成支援」

①「人材の育成支援」につきましては、高校生の就職率の向上や若手社員の早期離職率の低下を目指すことを目的に、高校生就職支援セミナーや若手スキルアップセミナー、管理職向けの研修を実施しており、一定の需要と効果が見込まれることから、内容を精査したうえで継続の検討を行って参ります。

4ページ目②「石狩市季節労働者通年雇用促進協議会との連携」につきましては、商工労働課内に石狩市季節労働者通年雇用促進協議会を設けており、通年雇用に向けての技能習得の支援や通年雇用促進セミナー、合同企業就職説明会などを実施しており、今後も継続して実施予定ですが、季節労働者の減少などもあり、今後の事業内容の見直しも検討して参ります。

次に、「(5) 労働力確保への支援」

①「労働力確保対策」につきましては、4～5ページをご覧ください。事業内容につきましては、ハローワーク札幌北と連携して市役所2階にジョブガイドいしかりを開設しているほか、シルバー人材センターへの支援や、各種セミナーの開催などを行って参りました。また、石狩商工会議所では、大学と連携し新港企業の見学会などを開催しております。その他には、人手不足の解消と地域の活性化を目的に設立された「浜益特定地域づくり事業協同組合」への支援などを行っており、引き続き継続して参ります。

②「通勤に伴う交通アクセスの利便性向上の検討」につきましては、再掲となっております。

次に、6ページ、③「外国人労働力受入環境整備の検討」につきましては、外国人採用に係るセミナーや相談会を開催したほか、日本語サロンを開催いたしました。今後におきましては、技能実習制度に代わる育成就労制度などの動向を注視するとともに、企業等のニーズをとらえながら、必要な支援を検討して参りたいと考えております。

次に、「(6) 事業継続への支援」につきましては、事業承継では、親族間での引継ぎのほか、後継者不在による相談等を随時行って参りましたが、今後も第三者への承継も含め、一定の支援需要が見込まれることから、経営者の意向やニーズを把握しながら、「北海道中小企業総合支援センター」や「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し支援を行って参ります。

また、今後においては、商工会議所で実施しております高校生・大学生を対象とした産学連携事業への継続支援や、国や道と連携した移住支援金事業の継続などを行って参りたいと考えております。

次に、7 ページ「(7) 創業・起業等への支援」ですが、本市において創業支援等事業計画を策定しており、ワンストップ窓口を開設し相談者の支援を行っておりますが、近年は相談件数も増加傾向にあります。また、石狩商工会議所が実施している「いしかり創業促進助成金事業」への支援を行うなど、引き続き商工会議所及び商工会と連携し、継続実施したいと考えております。

次に施策方針の3つ目「石狩のブランド力向上」として、「(1) 地産地消の推進」ですが、いしかり地産地消の店認証事業による地産地消の取り組みや、石狩三大秋祭りなど各種イベントを開催しております。今後においては、市内のみならず、道央圏における地域内流通を促進するため、「道の駅」や「とれのさと」を核とした地場産品販売の取り組みを行っていく必要があると考えております。

次に、8 ページ「(2) 地場産財の知名度向上」

①「地場産財の知名度向上」につきましては、地場産財の知名度向上に向け各種イベントへの出展をはじめ、道の駅を核としたPR活動の実施、ふるさと納税制度を活用した地場産品のPRを実施しております。現在、民間主導の新商品開発は活発に行われていることから、知名度向上やブランド力向上に向けた支援や北海道で行っている「北のハイグレード商品」等の認証制度を活用した知名度向上につなげて参りたいと考えております。

②「輸出に向けた取組検討」につきましては、本市単独での実施ではなく、北海道国際流通機構やさっぽろ連携中枢都市圏の枠組みなどを活用した取り組みを引き続き実施して参りたいと考えております。

次に、「(3) 販路拡大への支援」ですが、近鉄百貨店あべのハルカス本店やコーチャンフォー若葉台店などと連携した地場産材のPR販売を実施したほか、北海道貿易物産振興会が主催する商談会へのサポート、地場産品のブランド力と知名度の向上を目的としたセミナーを開催いたしました。「今後も新たな販路開拓や継続的な出展機会の確保、バイヤー等との関係を構築するため、観光協会や、農協、漁協との連携を図り取り組んでいく必要があると考えております。

次に、9 ページ「(4) 商品開発への支援」につきましては再掲となっております。

次に、「(5) ふるさと納税の推進」ですが、年々件数及び金額が増加傾向にあり、それに伴い返礼品として地場産品を提供することにより、PRにもつながっているものと考えております。今後は、「新たな地場産財」の掘り起こしを行うことが必要であると考えております。

次に、施策方針の4つ目「地域コミュニティの活性化」として、「(1) 地域商店街の活性化」ですが、商店街の魅力アップのため、「石狩まちゼミ」を毎年開催しております。「まちゼミ」は、お店の方が講師になってプロならではの専門的な知識や情報、コツなどを受講者に教える講座であり、店舗にとっては新しいお客様との出会いや同業者同士のつながりが生まれ、結果的に商店街活性化のための効果が期待されているところであり、今後も定着に向けた支援が必要と考えております。また、商店街への新たな購買層として、若年層や新港地域の就業者向けの情報発信及びPR方法の検討が必要であると考えております。

次に、10ページ「(2) 異業者等の連携」ですが、石狩イコロの会という団体が定期的に異業種交流会を開催しているほか、石狩商工会議所が新港地域の立地企業との交流会などを開催しており、今後もこのような活動への支援が必要であると考えております。

次に「(3) コミュニティビジネスの推進」については、助成金などの活動資金に関わる情報提供や、市民活動情報センター事業として、市民を対象としたまちづくり講演会を実施しており、これらを継続して実施していく予定でございます。

最後になりますが「(4) 地域の買物環境の整備」ですが、現状民間の移動販売や配送サービスが行われており、引き続き地域のニーズの把握に努めて参りたいと考えております。

長くなりましたが、第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況についての説明は以上となります。

【北山会長】

ただいま、事務局より第5次石狩市地場企業等活性化計画の推進状況について事務局から説明がございました。ご意見やご質問を受けたいと思いますが、何かございませんか。

(意見無し)

【北山会長】

この議題についてのご質問は特にないようですので、全体を通してなにかご意見等ございましたらお願いします。

(意見無し)

【北山会長】

特にないようですので、今日お集まりの皆様が所属されている組織や団体の活動状況や新たな取り組みなどございましたら、ご報告いただけないでしょうか。

それでは、石狩北商工会の小山さんから順にお願いします。

【小山委員】

石狩北商工会は厚田と浜益の商工会が合併しました。商工業者が後継者不足でお店を閉める方が多くなりまして、建設業はなんとかやっていますが、小売業の方は続々と店を閉められて、生協さんの移動販売車カケル君にお年寄の方たちは、お買い物の手段として利用させていただいております。

この計画にも載っておりましたが、夏場だけインターンで大学生が厚田に泊まって、キャンプ場とか海浜プールのお手伝いをしてきています。今年も暑かったのですが、すごく頑張っていらっしゃるなと思います。

それからもう1点、今日の新聞を見ますと中央バスが厚田まで来ないとのことで、八幡町で乗り継ぎになると住民説明会で聞いておりましたが、市役所までバスが走ってくれる計画があるみたいで、お年寄りには乗り降りが大変だという意見がたくさん出ておりましたので、良いお話かなと思って聞いておりました。以上です。

【北山会長】

どうもありがとうございます。

では、続きまして石狩金融協会の石田さんお願いします。

【石田委員】

石狩市金融協会については、北海道信用金庫さんと北洋銀行さんと北門信金さんと私の北海道銀行の4金融機関で構成させていただいておりまして、今年度につきましては北海道銀行が幹事ということで私が本会にも参加させていただいております。

日常営業活動として石狩市内の企業様にお邪魔させていただいているのですが、本当に石狩湾新港の地域というのは大きい企業様が多くて事業活動を活発にされている企業が多いなという印象があるのですが、皆様、声を揃えてこれから会社を大きくして行くうえでは人材の確保が課題ですと言うことをおっしゃる企業様が非常に多いです。さきほど交通手段の話もありましたけど、若い方の車離れが進んでいる中で通勤手段のところに課題があると。一方マイカー通勤についても私は実際に体験していませんが、この辺りの道路のことをさされる方も多いかと思うのですが、朝夕の渋滞についておっしゃる方が多いかと。そういった中で花川通りがこの秋に真っすぐ伸びて石狩湾新港地域までの道路アクセスが良くなることについての期待の声というののもかなり大きいかとというふうに思いますので、あと数ヶ月というところでホテルの開業もあり、そういった盛り上がりが見られてきたというふうに思っております。以上です。

【北山会長】

どうもありがとうございます。

では、続きまして石狩商工会議所の酒井さんお願いします。

【酒井委員】

商工会議所女性会につきましては、高齢化ということで年々かなり上の方々が多くなってきて、新しい方も入ってきてはいるのですが、中間層がどこの企業も少ないような感じがします。若い子が入ってきてくれるけど中間層がいないのでうまく引継ぎができない。そして、札幌に住んでいる方は石狩に就職するというのがなかなか厳しいと思います。うちの娘もそうですが、札幌に住んでいれば車はいらない。電車や地下鉄でどこでも行けるが、就職先を石狩にすると交通手段がないから就職したくないっていう若い子が多いという話を聞きました。だからといって駅を作るということは、本当は作ってくれると嬉しいですけどなかなか難しい話なのかなとは思っています。

女性会の話ですと10月18日に輪島市復興チャリティーパーティーというのをやることになっていて、去年ですと20万円を寄付金として輪島市の商工会議所女性会の方に送らせていただきました。今年も寄付金を送るつもりでいます。

ぜひ、皆さん、よろしければいらしてください。以上です。

【北山会長】

ありがとうございました。

続きまして石狩観光協会の高梨さんお願いします。

【高梨委員】

石狩観光協会の高梨です。直近といたしまして明後日まで石狩市内 3 地区の海水浴場が開設しております。近年、海水浴離れといえますか、去年は歴代最低の入込人数で、シーズンとして「あそびーち」でだいたい 6 万 6 千人。今年は天気も良く気温も高く海水浴日和と思われる日が多かったですが、入込自体は少ないかなという感じが、昨年と同じくらいの入込となっています。昔は夏といえば海！北海道の短い夏を楽しみたいということで結構海水浴に来ていたのですが、最近は子どもの頃に海に連れてってもらった記憶がないということが多いようです。そういった中で、海離れをなんとか止めていきたいという取り組みを今後考えていきたいなと思っております。

また、来月は石狩市三大秋祭りが 3 地区とも周年を迎えまして、浜益が第 40 回、厚田が第 50 回、石狩が第 60 回という記念の年となります。石狩の魅力をどんどん発信していきたいなと思っておりますが、鮭が今年は昨年の 50%にいかないのではないかとという予測がありまして、今年も鮭の値段が高くなって売れないのではないかと、イベントの中でも「つかみ取り」とかどこまでできるのかと・・・あまりいい話題が無いです。そういった中でもやっぱり石狩の魅力を盛り上げていきたいということで取り組んでおります。最近は北海道物産展とかそういった部分に関してはなかなか出る機会が少なくなってきましたが、市外への発信や市内の人も石狩の特産品を知らないといった傾向がございますので、石狩市民により多くの物を知ってもらえるような取り組みをしていければなと思っております。

【北山会長】

ありがとうございました。

最後になりますけれども北石狩農業協同組合の岩崎さんお願いします。

【岩崎委員】

北石狩農業協同組合の岩崎と申します。実際、企業誘致という部分から見ますとちょっと離れてしまうのですが、農業協同組合ということで農業がメインになっておりまして、私たち北石狩農業協同組合は当別町また厚田・浜益地区の担当エリアとして動いております。

北商工会もそうかもしれませんが、農業の方は特に後継者不足ということで結構大変な状況になっておりまして、担い手センターという部分で石狩市、当別町の方で協力をしながら後継者の育成等を行っているような状況でございます。

当別町としては「花」、石狩としては「ミニトマト」を主とした新規就農者の受入を行い後継者の育成を行っています。

また、私も当別町の方でも企業誘致の委員をさせていただいておりますが、石狩市ということでやっぱり規模が全然違うなと思って話を聞きながらいろいろ参考にさせていただき、また、協力できるところはやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【北山会長】

はい、ありがとうございました。

ただ今、色々なお話を聞いて私も感じたことはやっぱり後継者不足が厳しい状況である。それと石狩市に対する交通のアクセスが大変大きな課題になっているのだなと思いました。

今日は貴重なご意見ありがとうございました。それでは以上で私の司会を終わらせていただきます。ここからは事務局の方からお願いします。

【事務局（高井課長）】

北山会長ありがとうございました。また、委員の皆様も貴重なご意見ありがとうございました。

最後に「5. その他」ということで、事務局より2点ご連絡がございます。

1点目、本日の会議出席に係る報酬及び交通費の支給の関係ですが、ご辞退頂いている方以外には後日、所定の金額をご指定の口座にお振込みをさせていただきます。

個人番号（マイナンバー）及び報酬振込口座の確認が必要な方につきましては、この会議終了後、担当よりご説明させていただきます。

2点目といたしまして、当審議会の次回のスケジュールについてですが、今年度につきましては、現時点では予定している案件はございません。今後、案件がありましたら、随時ご案内させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上、事務局からの連絡です。

【北山会長】

それでは以上をもちまして、令和7年度第1回石狩市地場企業等活性化審議会を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。

=====

令和 7 年 9 月 22 日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化審議会

会 長 北 山 肇